

別府市立少年自然の家「おじか」再整備・利活用に関する サウンディング型市場調査の対話結果の公表

1. サウンディング型市場調査実施の経緯

別府市では、別府市立少年自然の家「おじか」について、再整備を計画・検討するにあたり、市場性の有無や民間活力の導入可能性などを把握することを目的として、令和4年1月にサウンディング型市場調査※を実施しました。

その調査結果を踏まえつつ、おじかの当初の設置目的であった「子どもの体験・育成機能」を維持することを前提に、民間事業者による活用意欲や実施上の課題・条件等についても意見を聴取し、本施設の活用の方向性を検討するために再度サウンディング調査を実施しました。

なお、個別対話でいただいた具体的な提案内容については、知的財産権保護の観点から公表を差し控えます。

2. 調査対象施設

別府市立少年自然の家「おじか」（別府市大字別府字小鹿 4374 番地 1（枝郷 1 組））

3. サウンディング型市場調査のスケジュール

サウンディング型市場調査実施の公表	令和5年8月24日（金）
アンケート調査の実施	令和5年8月24日（金）～9月13日（水）
対話の実施	令和5年10月5日（木）～20日（金）

4. サウンディング型市場調査の参加者

（1）アンケート調査の回答者

実施期間 令和5年8月24日（金）～9月13日（水）

参加者 19 事業者

（2）対話参加者

実施期間 令和5年10月5日（木）～20日（金）

参加者 6 事業者

5. 対話結果の概要

民間事業者から提案された主な概要は次のとおりです。

活用可能性について

- ・本施設の現状の利用状況や立地環境を踏まえた整備・活用の方向性についての提案をいただきました。
- ・参画意欲も高いという趣旨の回答ではありませんでした。

実施上の課題・条件について

- ・本事業の実施上の課題・条件について、主に既存施設の老朽化や交通アクセスに関する提案をいただきました。

6. 対話結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査では、本施設の活用可能性や本事業の実施上の課題・条件等に関する提案をいただきました。

今後、市といたしましては対話の結果を参考に、本市内部での検討・協議を行い、別府市立少年自然の家「おじか」の再整備・利活用の可能性について、引き続き検討してまいります。